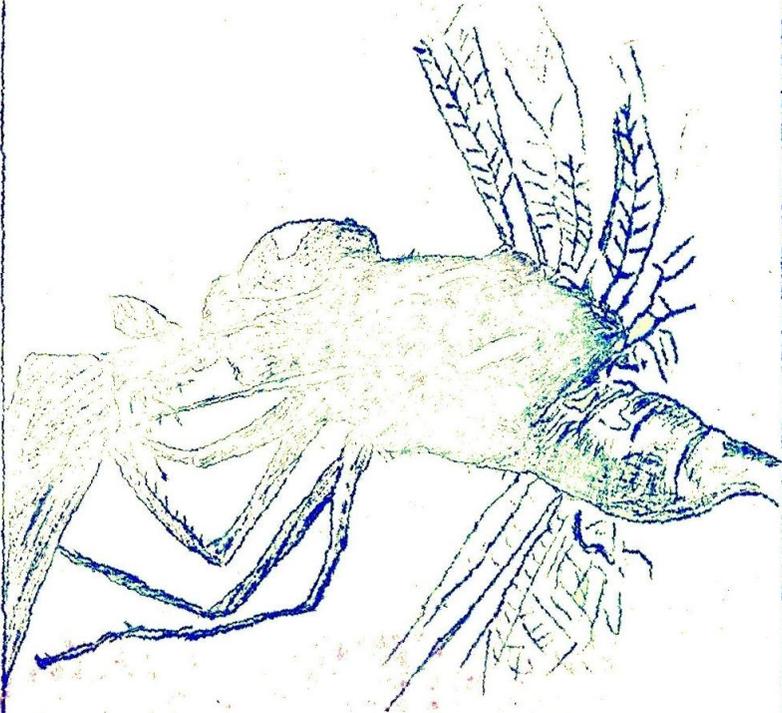


昆虫学

No. 3

昆虫採集特集号



鹿児島県
志布志高校 生物研究会

志布志高校生物研究會會報

モンシロチョウ

昆虫採集特集号 1951年8月11日

No. 3

目次

昆虫採集特集号発刊に際して	新川勉	1
昆虫採集地案内		2
志布志地方の蝶(3)	福田晴夫	6
ギジバトの研究(初報)	久木崎富良	8
今年の蝶の初見日		9
リシャル式採卵		10
高千穂峯に蝶を追って	福田中及新川	13
甲蟲(3)	新川勉	17
展覧板		18
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 今年の蝶の新記録追加種 ◦ 志布志地方のシルビアギジミ 福田 ◦ ミツイロオトギジミ多産地 福田 ◦ トニボ雑記 新川 		
ムシスケッチ		19
会だより		20
全国昆虫研究者昆虫友雑記		20
後記	新川勉	20

昆蟲採集特集 特集号 發刊に際して

3年 新川 勉

も介対にくる。発あ云やだた数冷は。大え負う。多大あ南は。ラ生虫する。つる。会の。衫どが。つる。種た。採ど。止ると。が。便。ま。白。き。ク。の。昆。成。に。心。研。金。ど。つ。い。十。あ。島。足。以。こ。と。た。る。の。玉。の。結。と。中。物。平。る。現。に。れ。は。六。の。霧。予。程。こ。れ。ち。に。於。あ。が。我。に。我。ま。が。は。い。も。た。向。ら。の。心。の。向。行。く。小。え。い。ち。に。あ。あ。主。置。好。ま。が。の。い。も。た。向。ら。の。心。の。向。行。く。小。え。い。ち。に。あ。あ。あ。て。位。同。味。各。し。者。を。明。け。の。心。の。向。行。く。小。え。い。ち。に。あ。あ。ぞ。だ。し。端。昆。興。高。我。え。専。二。は。2。0。0。に。共。昆。り。確。の。天。の。南。福。あ。ま。の。指。い。弟。の。現。在。の。多。が。皆。れ。に。我。の。他。に。特。の。馬。の。本。大。對。天。在。知。ま。る。も。ど。ろ。ち。に。あ。あ。昆。ら。我。の。さ。の。採。る。や。昆。子。ら。は。良。難。も。ほ。つ。び。に。休。甲。一。小。ち。育。し。て。に。採。る。の。は。初。に。分。ま。り。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。さ。の。採。る。の。は。初。に。分。ま。り。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。手。輕。て。あ。ら。初。に。分。ま。り。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。は。真。し。つ。の。外。か。ね。は。特。殊。の。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。外。の。と。つ。の。外。か。ね。は。特。殊。の。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。野。然。う。り。の。外。か。ね。は。特。殊。の。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。ま。自。ま。り。の。外。か。ね。は。特。殊。の。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。グ。大。し。ま。地。老。も。経。て。は。同。様。の。今。の。此。の。ど。お。く。八。飼。用。せ。近。心。白。識。も。加。入。お。け。る。難。か。ら。な。い。が。期。待。す。い。ち。に。あ。あ。ガ。心。白。識。も。加。入。お。け。る。難。か。ら。な。い。が。期。待。す。い。ち。に。あ。あ。み。中。明。識。も。加。入。お。け。る。難。か。ら。な。い。が。期。待。す。い。ち。に。あ。あ。夏。蟻。布。す。い。唯。興。足。つ。白。ら。ま。思。え。後。よ。い。ら。全。最。い。な。る。端。不。



志布志地方の蝶

(3)

3年 福田 晴夫

(シロキョウ科)

- モンロキョウ
春早くおらわれ各地に最も普通で十字花植物の害虫として有名で
ある。夏型は5月にあらわれる。
- スダグロシロキョウ
前種同種であるが春期の発生がややおくれるのは面白い。
- キチョウ
冬で暖いエ手などに見られる普通種を季節的差異が見だしい。莖
科を食す。
- ツマグロキチョウ
前種に同じ。
- モンキチョウ
前種より多くは5月～6月ごろには最も多い冬で時々見
られる。越冬はよくわからないがおそろくサナギであらうと思は
れる。早く白い葉の二型を産する。
- ツマキチョウ
3月中旬より4月中旬にかけて最も多く発生するが年一回の発生
だから時期をばづさぬ様に採らねばならない。

(シロミキョウ科)

- ヤマトシジミ
3月中旬より秋まで数回の発生をくりかえす普通種を食草はカ
タバキである。
- シルビアシジミ
本種は展覧板にも書いた様に今年始めて1ヶ月前を採った為どの程
度いるのか不明である。おそろく3月末に安楽川堤のあたりのミヤ
コグサを目当てに行けば一回目の発生はとれただろう。ヤマト
シジミと混同しやすから必ず採つてみる事が大切である。今後
研究の余地が多分にある。
- ツバメシジミ
2月末より出て数回発生し秋まで見られる各地に普通で豆科を食
す。個体変異が多い。

ていた鳥名があまり残念であつた。しかしこのうかごたしかめたものは、休む、エノキ、松の種などをわかつた。木が実でも、ハサミで切られるものは、人体消化されてしまう、半位のものすら、200〜300位は食つた、以上、甚だ、不完全ではあるが、一回目として知り得たことをあげておいた、今後、もっとくわしいほど見、えこの種数、量などには目を付けてほしい、不だ不明の葉が多いのは、残念でもあるが、たのしみでもある、

1951年の

蝶の初見日

アゲハキョウ科

ナミアゲハ	3.4.日	(伊尾)	五ヶ所町小浜
オガアゲハ	4.9.	(大の)	五ヶ所町守米
アサギアゲハ	4.3	(新川)夏井
キアゲハ	3.10.	(福田)守米
クロアゲハ	4.3	(新川)夏井
カラスアゲハ	4.11.	(福田)守米
モンキアゲハ	4.3.	(新川)夏井
シカドアゲハ	4.無	(上西)守米
ヤブサキアゲハ	(4.9)	(福田)
ゴマコウアゲハ	(3.30)	(福田)夏井

タテハキョウ科

ルリタテハ	3.3.	(新川)守米
ヒオドリキョウ	3.24.	(伊尾)御在所嶽
ゴマダラキョウ	4.29.	(新川)守米
イシガキキョウ	3.11	(伊尾)	五ヶ所町夏井
	3.11	(福田)	西之町五ヶ所原(伊)
コムスチ	3.30	(福田)	五ヶ所町夏井
イチモンジキョウ	4.29	(伊尾)守米
ツマグロヒキョウモン	2.27.	(新川福田)

ヒカゲキョウ科

コムスチ	5.3.	守米 (新川)
クロヒカゲ	3.29	彦原 (福田)
ヒナウラナミダ	4.9.	各地
コムスチ	1.1.	彦原 (福田)
キマダラヒカゲ	5.30	夏井 (福田)
アサギマダラ	5.3.	守米 (伊尾)

セセリキョウ科

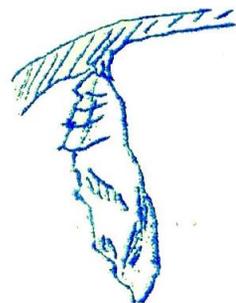
アサバセセリ	4.15.	夏井
ミヤマセセリ	3.24.	御在所嶽

シジミキョウ科

ベニシジミ	3.20.	守米
ルリシジミ	3.10.	夏井
ムラサキシ	1.1.	各地
メマトシジミ	2.23	守米
ツマシジミ	3.10.	守米
ツバシジミ	2.16.	守米
ウラナミシ	3.11	シ
ムラサキツバ	3.1	シ
ミヅヒメオガ	6.3.	彦原

シロキョウ科

モンシロ	2.20	守米
スズグロ	3.4.	彦原
ツマグロキ	2.22	守米
キキョウ	シ
ツマキキョウ	3.16	シ
モンキキョウ	3.15	シ



甲虫 (3)
3年
新川 勉

カミキリムシ科

- クロカミキリ
- トザリミロオビカミキリ
- アサカシカミキリ
- ナゴコマフカミキリ
- クワカミキリ
- ゴマダラカミキリ
- ノコギリカミキリ
- ベニカミキリ
- シロスズカミキリ
- ヤマズカミキリ
- ホリアシトラカミキリ

シデムシ科

- クロシデムシ

ケシキスイ科
ヨツボシケシキスイ

ヲサムシ科

- オオヨツボシゾサムシ
- オオアトホシゾサムシ
- セアカゾサムシ

ゾウムシ科

- オオゾウムシ

マイマイカブリ科

- ヒメマイマイカブリ

ハニメウ科

- ハニメウ
- ニロハニメウ
- コニメウ

今日の形式を變えりして、非常に種類の多い甲虫類の目録をせしむべきに成したいと思ふ事、同定も大部分は黒澤君の氏にあぬがしめた。

タマムシ科

- タマムシ
- タバタムシ
- サツバハバタムシ
- クロタマムシ

コガネムシ科

- オゾムシ
- センヤマガネ
- ミドリハナムグリ
- アサコナブン
- クロコナブン
- オオコフキコガネ
- コフキコガネ
- カナブン
- ハナムグリ
- スギコガネ

コナツキムシ科

- ウバタマモドキ

テントウムシ科

- オオテントウ
- テントウムシ
- ナナホシテントウムシ

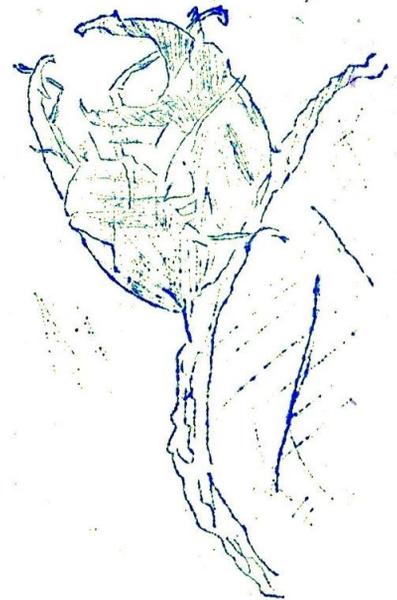
以下は黒澤君の同定には

メナギハムシ (ハムシ科)

- コモンシジミガムシ (ガムシ科)
- ヒメクロオトシガムシ (ガムシ科)
- オオクキムシ (クキムシ科)
- マヒメマコガネ (コガネ科)
- ヒメシジミガムシ (シジミガムシ科)

- ダイコニナルハムシ (ハムシ科)
- ヒメアカボシテントウ (テントウムシ科)
- クロイトクヤクシ (クキムシ科)
- ヤマトツクリゴシムシ (ゴシムシ科)
- ヨツボシゴシムシ (ゴシムシ科)
- アサマグリコガネ (コガネ科)
- ベニムシボシテントウ (テントウムシ科)
- ニシゴシムシ (ゴシムシ科)
- マツヒラホシゴシムシ (ゴシムシ科)
- ハムシガムシ (ハムシ科)
- ナガゴシムシ (オサムシ科)
- ウスケツクムシ (オサムシ科)

以上 順不同
少しづつでも完全にしたりとせう



板 州 蝶

○ 今年の蝶の新記録地

オナガアゲハ	大野	4 2	赤布志断守崇 (谷川に発見)
ウラギンスギヒヨウモン	福田	5 28日	赤布志断守崇 (各地に多し)
オウウラギンスギヒヨウモン	新川	6 月24日	霧島山
キニグチヨウ	野和太町	6 月24日	霧島山
シルビアシジミ	福田	3 月22日	宇米
トラフシジミ	新川伊地知	6 月24日	霧島
ミドリシジミ	大野	6 月24日	霧島
ホソバセセリ	福田	7 月17日	蓬原
ヒナキマダラセセリ	大野	6 月24日	霧系
ヒオドシキョウ	野和	6 月24日	霧島

○ 赤布志地方のシルビアシジミ

1951年6月22日 午後3時30分、山鹿神社下の田んぼにおいて1匹をとり、その後再び1匹をとつた。これは、鹿児島県における最初の記録とのことである。その後8月6日、蓬原において、1匹を採った。これで、本種は各地に産するものと思われ、尚、標本は、皆無である所存している。(福田)

○ ミツイロオナガシジミ多産地

本誌NO.2に少しのべておいたが、多産地と区別したのがまだ詰まる。6月3日 赤と同じ場所、蓬原、クヌギ林において、多数目撃し、6頭を採らせた。白水発生にみまもらせられたところ、本種は、南九州では全く記録が無く、南端にこそ多産することは、非常に面白いことである、とのことである。各地に添りとうに思われる。(福田)

○ トニボ雑記

本誌15号より、トニボトニボ→トニボ朝比奈正三評定生に因るおわがし下、普通種であるが、本誌まで来る

(ウツトニボ科) ハグロトニボ(♀) 1951.V.14. 恐らく日本の出現季の最も早いもの 宇米
アヲハダトニボ 宇米 山口本郡最南端の記録でしょう。

(ウツトニボ科)

キイロサナエ(♀) 宇米 2.V.51 上層が眞黒子と混目に征す、本邦最南端記録。
ヤマサナエ(♀) 宇米、 14.V.51. 最南端記録種
オグマサナエ(♂) 宇米 1.V.51. " " " "

(トニボ科) コヤマトニボ(♀) 大崎町上町 12.V.57. 南端記録。
ミヤマトニボ 宇米 19.V.51. " " " "

新川地

志布志高校 生物研究会会報 モンシロウヨウ

No. 3

1951年 8月11日 発行、発行責任者、久本崎重夫

編集者、新川勉、印刷者、福田晴夫、栗丸美訓